

## 令和４年度千葉市あんしんケアセンター運営事業計画

センター名	千葉市あんしんケアセンター花見川	
担当圏域 地区概況及び 地区課題	<p>センター所在地である花見川団地は昭和43年に建てられた大型団地であり、建設当初の入居者が高齢となり担当圏域でもトップの高齢化率（平均43.7%）である。相談件数も花見川団地で約半数以上を占めている。安否確認や後見問題につながる相談が多く、地域住民の大きな不安となっている。経済的な課題を抱え、身寄りがいない高齢・独居世帯、同居でも子に精神疾患・障害があるなどの課題を抱えている世帯が増加している。また、地域を支える支援団体、民生委員等も高齢化が進み、後任探しや欠員状況が続くなど苦慮している。花見川団地以外にも昭和40年代に建設されたマンション、集合住宅が点在しており、同様の課題を抱えている。地域資源に関しては商業施設が多く、交通機関も発達しており生活しやすい環境にある。</p> <p>一方、田畑が残り代々住んでいる地域も多く残っている。団地に比べ家族の支援を期待できるが、閉鎖的で人の手を借りる事を好まない風土も残っており、相談が少ない傾向にある。あんしんの更なる周知が必要と考えている。また、地域資源に関しては商業施設が少なく交通手段も限られており、車を手放すと買い物難民になりやすい課題も残っている。</p>	
活動方針 (総合)	<p>圏域の民生委員、支援団体、地域住人の情報提供から介入に至るケースが増えてきている。今後も地域支援者との関係性を維持・発展させ早期対応を心掛けていく。相談や情報提供が少ない地域に関しては、あんしんの周知不足も考えられるため定期的なアプローチから地域関係者とのネットワーク作りを推進していく。</p>	
2 第1号介護予防支援事業		
年度 計画	運営目標	<p>チェックリスト等を活用し、高齢者自身が心身の状況や環境等を把握し、社会資源なども高齢者の選択により介護予防に取り組めるよう支援していく。また、フォーマルな資源だけでなく、地域の中で生きがいや役割をもって生活できるよう住民等が運営するインフォーマル資源も活用したケアマネジメントを推進していく。</p>
	具体的な 取り組み 計画	<p>・定期的な地域活動でチェックリスト実施を継続していく。特にいきいきセンター主催のフェスタやイベントには積極的に参加しチェックリストを活用していく。あんしん主催でもチェックリストを実施できるサロンや相談会の開催を計画していく。また、コロナ禍におけるインフォーマル活動の運営状況の確認や生活支援コーディネーターと連携し新たな活動の場を収集把握し、高齢者自身の選択により個々のニーズに合わせた介護予防に取り組めるよう支援していく。</p>
3 総合相談支援		
年度 計画	運営目標	<p>身近な相談窓口として、高齢者のみならず世帯全体を支援しワンストップサービスの機能を目指していく。原則すべての相談を受け付け、必要に応じ他機関との連携を図りながら対応していく。包括3職種による適切なアセスメントにより緊急性の判断や継続、終結を含めた進捗管理を行っていく。</p>
	具体的な 取り組み 計画	<p>・地域行事やサロンなど積極的に参加し、身近な相談窓口としての周知を図っていく。重点地区の東急町内会を中心に、センターから離れている地域には出張相談の機能も持ち合わせ対応していく。</p> <p>・民生委員、自治会等で開催される会議の参加や役員宅への訪問活動から地域・世帯情報を収集し、実態に応じた支援を行う。</p>
4 権利擁護		
年度 計画	運営目標	<p>千葉市高齢者虐待防止マニュアルに基づき、関係機関と連携を図りながら包括3職種が適切に対応できるようにする。地域活動の際、権利擁護の周知活動を行い、必要に応じて警察や消費者生活センターと連携を取り啓発活動を行っていく。</p>
	具体的な 取り組み 計画	<p>・高齢障害支援課に速やかに報告し、情報共有により足並みをそろえ、適切な対応を行っていく。</p> <p>・居宅等の事業所に対して高齢者虐待の件数や傾向などの現状を伝え、注意喚起を行っていく。</p> <p>・区社会福祉士会議を継続し権利擁護のケース検討や関係機関との情報交換の場としていく。また内容を全スタッフ共有し対応の底上げを図っていく。</p>

5 包括的・継続的ケアマネジメント支援		
年度計画	運営目標	地域の介護支援専門員の資質向上にむけ、企画運営を継続していく。 各種会議や研修会を通じて、関係機関との連携やネットワーク構築を進めていく。
	具体的な取り組み計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の介護支援専門員の資質向上に向け、区内センター共催で合同連絡会を定期開催していく。</li> <li>・区主任ケアマネの会で居宅に向けた研修会や資料・情報誌の発行を再開していく。</li> <li>・圏域別ケアマネの会を継続し、通常のケアマネ業務から地域課題を抽出し地域ケア会議に発展させていく。</li> <li>・多職種連携会議を圏域単位と区全体の定期開催とし開催方法もオンラインの活用など柔軟に対応していく。</li> <li>・花見川団地での定期的な地域ケア会議を再開していく。</li> </ul>
6 一般介護予防事業		
年度計画	運営目標	地域行事・イベント・サロン等に積極的に参加し、介護予防に資する情報提供やミニ講座の活動を継続していく。 既存の活動以外にも生活支援コーディネーターや健康課等とも連携し、活動の場を広げていく。
	具体的な取り組み計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防の啓発につながる広報誌の作成し、サロンや各種教室で配布、配架し地域への発信を継続していく。</li> <li>・あんしん主体で関係機関との連携により健康サロン（体力・健康測定等々）を企画していく。</li> <li>・センター前でのラジオ体操の周知活動を強化し、参加者には「いきいき活動手帳」の活用を促していく。</li> <li>・住民主体の体操教室や地域のサロン等に感染症対策の提案を行いながら参加を継続していく。</li> </ul>